

ファイナルレポート

国際レーザー・オプトエレクトロニクス応用技術専門見本市
上海マシンビジョン見本市 / マシンビジョンテクノロジー&アプリケーション カンファレンス
2018年3月14日～16日 / 中国・上海新国際見本市会場

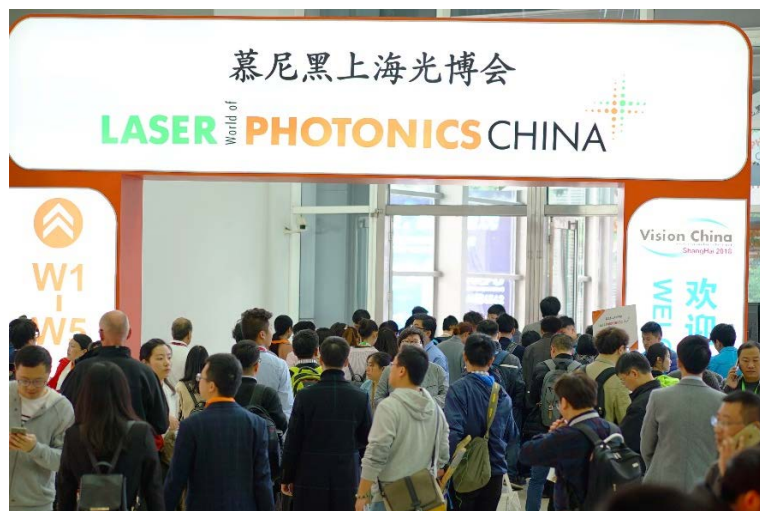
2018年3月21日

スマート製造を可能にするインテリジェント・ライト

LASER World of PHOTONICS CHINA 2018 大成功を収める

Summary

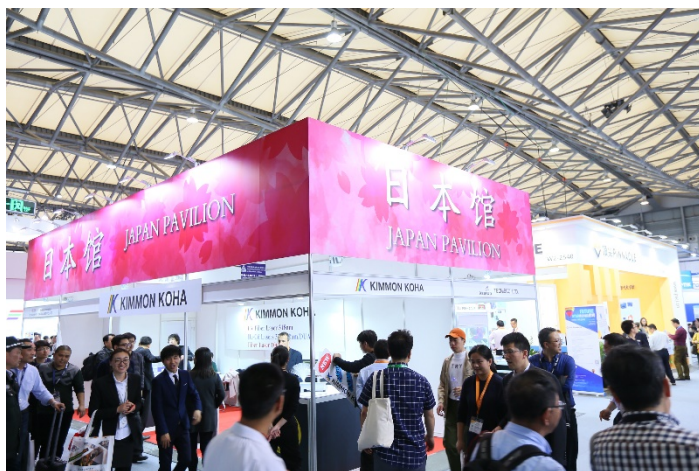
- 来場者数は過去最高の 55,872 人を記録
- 977 の出展企業が総合生産化に焦点をあてる
- 高度なフォトニクス製品と革新的アプリケーションを備えた「インテリジェント製造」



Facts & Data

会期	2018年3月14日(火)～16日(木) 午前9時～午後5時(最終日午後4時まで)
会場	中国・上海新国際見本市会場
主催	Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン MM (Shanghai) Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海
規模	51,750 m ² (2017年 49,360 m ²)
出展企業	25ヶ国 977社 (2017年 25ヶ国 929社)
来場者総数	55,872人 (2017年 53,732人)
専門分野	レーザー・オプトロニクス、光学、光学製造技術、センサー・測定技術、生産技術、光学測定システム、医療技術・バイオテクノロジー、イメージング、マシンビジョンイルミネーション
主な出展品	光学コンポーネント ：レーザー・オプトロニクス、オプティクス、センサー、検査・計測、サービス オプティカル製造技術・光学アプリケーション ：レーザー加工・製造技術、オプティカル計測システム、医療用レーザー、バイオフォトニクス・ライフサイエンス、イメージング、イルミネーション
専用 URL	www.world-of-photonics-china.com (英語 / 中国語)

LASER World of PHOTONICS CHINA 2018 は、世界最先端のフォトニクス技術の全体像を把握する機会として、まさに最適な場であった。25カ国から計 977 社の出展社が同イベントに出展し、展示スペースは 51,750 m²に達した。レーザー市場が急速に拡大し、その用途がますます広がるにつれて、現在レーザー技術はあらゆる産業に浸透してきている。見本市へのビジネス来場者が、3 日間で計 55,872 人を数え、LASER World of PHOTONICS CHINA 2018 は、来場者数において新記録を達成した。



メッセ・ミュンヘン副社長であるラインハルト・ファイファーは、産業用レーザーとレーザーシステム応用分野において、中国は今なお最も重要な市場であり続けていると述べた。LASER World of PHOTONICS CHINA 2018 は、中国の市場動向に迅速に対応している。

光によるインテリジェント製造

中国市場が大きく発展したおかげで、国は純粋な製造拠点から強力な製造大国に変わりつつある。これには、光学技術とフォトニクス技術を組み合わせたインテリジェント製造が必要となる。近年、フォトニクス業界では新しい製品やアプリ

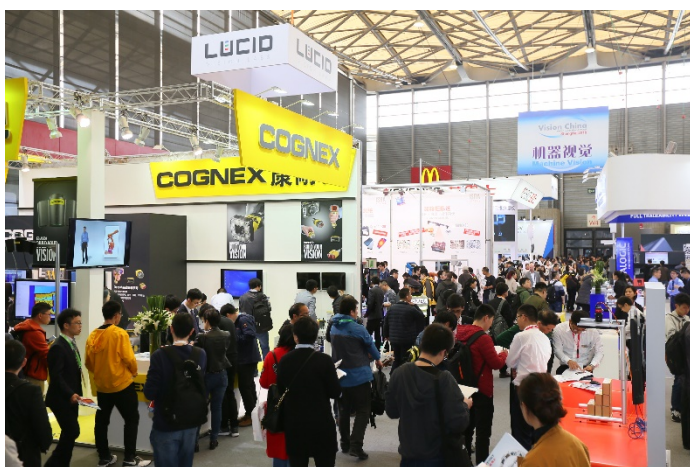
ケーションが製造されている。「Made in China 2025」構想の結果、レーザー業界全体が盛り上がりを見せている。LASER World of PHOTONICS CHINA 2018 では、「Made in China」の勢いを際立たせる最先端技術が、世界有数のフォトニクス企業によって紹介された。

Coherent 社ワールドワイドセールス、サービス&マーケティング担当副社長である Paul F. Sechrist 氏は、この戦略的プロセスにおける LASER World of PHOTONICS CHINA 2018 の役割について話した。「この見本市は、顧客と話し、アイデアを交換し、これまでの議論に基づいて導き出されたソリューションを展示するだけでなく、将来のニーズにも耳を傾けることができる良い機会だ」。Staubli (Hangzhou) Mechatronic 社ロボット部門担当キーアカウントマネージャー、Riqing Jiang 氏は次のように述べている。「LASER World of PHOTONICS CHINA は、出展社と来場者の両方にとって、非常に優れた専門的プラットフォームだ。見本市初日で、当社はすでにいくつかの取引を締結できた。LASER World of PHOTONICS CHINA では、来場者とたくさんコミュニケーションができるので、ニーズに的確に応えることができる」。

レーザー技術の全サプライチェーンが集まる場所

インテリジェント製造、新エネルギー、およびその他の新分野における技術的進歩と産業利用は、世界の産業構造の変化をスピードアップさせるだろう。このことを背景に、中国のフォトニクス産業も新たな段階に入りつつある。LASER World of PHOTONICS CHINA は、代表的かつ影響力のあるサービスプラットフォームとして、業界の迅速な発展を促し、産業チェーン全体がバランスよく発展するための機会を多く創出している。

Baolong (Anhui) Auto Parts 社の技術開発マネージャーである He Xinyun 氏は次のように述べている。「PLASER World of PHOTONICS CHINA は、人件費削減に役立つスマートなソリューションを提供しており、当社はその点で多くのメリットを得ている。この見本市のおかげで、当社はハイエンド機器、先端技術、スマートな生産ライン、新しい自動化技術、および業界のロボットのことがよく分かるようになった。これらは、コスト削減、効率化、国際競争力の向上に役立つ。私たちは来年もまた出展するだろう」。



最先端技術の最前線を探る光学精密製造技術

LASER World of PHOTONICS CHINA のオプティクス部門で紹介されたソリューションは、輸送、エネルギー、IT、バイオ医薬品分野、その他ハイテク産業に対し技術サポートを提供する。Hexagon Metrology

China のマネージングディレクター、Xiaotao Sun 氏は次のように述べている。「来場者の流れ、専門性、ホールのレイアウト、特にホール内の業界の配置など、すべてが非常に特徴的かつ効率的だ」。

新しい可能性を提供するマシンビジョン

レーザーとロボット技術は、中国の製造業を世界的バリューチェーンの新たなレベルへと引き上げる重要な力となっている。マシンビジョン産業の大躍進は「インテリジェント製造」に新たな革新力をもたらした。特に、マシンビジョンとロボット技術との相乗効果により、製造業は強化されてきた。China Society of Image and Graphics, the Machine Vision Industry Union of ZGC (ZGCMVU)とメッセ・ミュンヘン上海が主催するビジョン・チャイナ・カンファレンスでは、インテリジェント製造、人工知能、ビッグデータ、3D、VR、マシンビジョン、そしてスマートファクトリーの素晴らしい全体図(世界の先進的ビジョン技術とスマート・ソリューションのほぼ全て)を見渡すことができる。Teledyne DALSA Asia Pacific 社長、Keith A. Reuben 氏は、次のようにコメントしている。「私見だが、この見本市はアジア最大規模だと思う。当社は既存の顧客との関係維持から、新規顧客の獲得、新技術の紹介、オートメーションの開発まですべてここで行っている」。

有益な併催プログラム

見本市と並行して開催された PHOTONICS CONGRESS CHINA は、有益な情報が満載だ。ここでは、レーザー加工、先端レーザー、光学技術、赤外線イメージング技術、レーザー安全性、ビーム解析、その他最新の研究成果や研究開発など、業界のホットな話題に焦点が当てられた。会議は計 2,463 人を集めた。Fraunhofer Institute for Laser Technology のディレクター、Prof. Dr. Reinhart Poprawe 氏は、インダストリー4.0 のデジタル・フォトリック・プロダクションについて深い洞察を与えた。フォーラムはすべて満員となり、科学者、企業のエグゼクティブ、研究開発や生産技術の担当者から高い評価を得た。

中国光学学会レーザー加工委員会委員長の Prof. Youliang Wang 氏は、次のように述べた。「LASER World of PHOTONICS CHINA が成し遂げてきたことは、業界内で広く認識されている。この見本市は毎年発展しており、来場者数も着実に増えている。今の中国レーザー産業の成功は、LASER World of PHOTONICS CHINA のサポートと、そこで紹介されるレーザー技術が深く関係しているといえるだろう」。



次回の LASER World of PHOTONICS CHINA は 2019 年 3 月 20 日～22 日、上海新国際見本市会場にて開催される。詳細情報ならびに写真は、専用 HP www.world-of-photonics-china.com まで

LASER World of PHOTONICS CHINA 2018 主な出展日本企業(現法出展など含む)

(株)アマダミヤチ、(株)アートレイ、S.E.Technologies Limited、SMC(株)、(株)エスケーエレクトロニクス、(株)オキサイド、沖電線(株)、オムロンセンテック(株)、(株)キーエンス、(株)金門光波、(株)ケンコー・トキナー、興和光学(株)、コニカミノルタ(株)、santec(株)、CBC(株)、シーシーエス(株)、澁谷工業(株)、(株)ジェイエアイコーポレーション、住友電気工業(株)、ダイトエレクトロン(株)、達華産業(株)、チコーエアーテック(株)、(株)テクニスコ、(株)ニコン、一般社団法人日本インダストリアルイメージング協会、(株)ハギテック、浜松ホトニクス(株)、平河ヒューテック(株)、(株)フジクラ、富士フイルム(株)、(株)ファースト、ファナック(株)、(株)マイクロ・テクニカ、(株)ミツトヨ、(株)ミュートロン、(株)モリテックス、(株)安川電機、安田産業(株)、山本光学(株) など (50 音順)

資料請求、各種お問い合わせ先:メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語/ドイツ語)